

授業科目名		開講年次	開講期間	単位数	授業形態
精神看護学実習Ⅲ-A(リエゾン精神看護実習)		2	前期	2	実習 90時間
担当教員	田中美恵子、中島洋一、松谷典洋、木村允				
授業概要	基盤分野、ならびに精神看護学特論Ⅰ～Ⅴ、精神看護学演習Ⅰ～Ⅲの学習をもとに、専門看護師としての実践能力の基礎を養う。実習Ⅲ-Aは、リエゾン精神看護に焦点を当てる。				
到達目標	リエゾン精神看護の対象および場の特徴を理解し、患者1名程度を通して、コンサルテーション、調整、倫理調整等を実施する。 ☆学生はサブスペシャリティに応じて、実習Ⅲ-Aか実習Ⅲ-Bのどちらかを選択する。				
履修条件	精神看護学特論Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、実習Ⅰ、Ⅱを履修済みのこと				
授業計画	<p>1. 精神科リエゾンチームの活動に同行し、参加観察を通して、リエゾン精神看護における対象および場の特徴を学習する。実践・コンサルテーション・調整・倫理調整・教育などの役割と機能について参加観察を通して学習する。1日の終わりに、臨床指導者および担当教員とカンファレンスを実施し、それぞれの活動の意図や方法について検討する。</p> <p>2. 患者の同意を得て、心身両面の問題を有する患者1名程度を受け持ち、患者にかかわるプライマリナース、病棟スタッフ、看護管理者等にコンサルテーションを実施する。その際、患者に対して、専門的知識を用いてケース理解を深めるとともに、対応を必要とする課題・課題へのアプローチ方法等について検討する。併せてコンサルテーションの実施に際し、臨床指導者および担当教員からスーパービジョンを受ける。必要に応じて、調整、倫理調整を行う。</p> <p>*詳細は後日、オリエンテーション時に説明する。</p>				
教科書	特に指定せず。				
参考書	野末聖香編：リエゾン精神看護 患者ケアとナース支援のために、医歯薬出版、2004.				
評価方法・基準	実習・カンファレンスへの参加度30%、レポート70%によって、総合的に評価する。				
事前・事後学習	これまでの学修を再度確認して深めておくこと(1時間程度)。自己の課題について明確にしておくこと。事後は実習の振り返りを行い、今後に向けての課題を明らかにすること(2時間程度)。				
備考	授業場所：亀田総合病院 実習場所：亀田総合病院 実習期間：原則として、10月の2週間(4日/週×2週間：8日間)1限～4限				